

点滴療法研究会15周年 / 日本オーソモレキュラー医学会第4回総会 合同開催

国際栄養医学 シンポジウム 2022

NEW AGE MEDICINE
新時代栄養医療がつくる健康な未来

2022年 9月18日(日) ~ 19日(月祝)

会場：JP TOWER Hall & Conference (東京)

受付スタート



会 頭

柳澤 厚生
点滴療法研究会 会長



名誉会頭

矢澤 一良 先生
早稲田大学
ナノ・ライフ創研研究機構
規範科学総合研究所
ヘルスフード科学部門 部門長

会 頭

井手口 直子
帝京平成大学 薬学部 教授



主開催：点滴療法研究会・(一社)日本オーソモレキュラー医学会

会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

[発行元] 点滴療法研究会 [発行月] 2022.4

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカイル4F / Tel: 03-6277-3318 / E-mail: info@iv-therapy.jp

NEW AGE MEDICINE

2022
Spring
04
vol.5



Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

Interview

医療法人仁善会 田中クリニック 理事長

田中 善 先生

腸内細菌の重要性

プラネタリーヘルスという視座から

点滴・栄養療法 症例報告

幹細胞培養上清が奏効した2症例
N2クリニックホテル椿山荘東京院 院長 野村 紘史先生

グルタチオン点滴により劇的な症状改善がみられた
パーキンソン病の一例
大阪肛門科診療所 副院長 佐々木 みのり先生

国際栄養医学シンポジウム講演ピック 速報

最新海外情報

コラム紹介

アンチエイジング(加齢制御) 医学とオーソモレキュラー医学
医療法人社団松寿会松山医院 院長 松山 淳先生

会員クリニックのご紹介vol.4

ハートフルクリニック

今更聞けない **点滴療法の基本!**



Interview

腸内細菌の重要性

—プラネタリーヘルスという視座から



医療法人仁善会 田中クリニック
理事長 田中 善 先生

なぜこんなに病気が増え続けるのか

筆者は常時 40 人前後のがん患者さんの治療を行っています。来院患者数の増加、40 歳代を中心とする若年層が多くなっている印象です。その他、認知症、自閉スペクトラム症、アレルギー疾患、自己免疫疾患も私の子供のころと比べても増加しているようです。社会は医療が発達して、iPS 細胞、免疫チェックポイント阻害剤など日本発の医療も出現して期待され、すべての病気は克服できるという風潮で、寿命もどんどん伸びるという期待感を抱かせるものでした。しかし、**治療に難渋するがん、難病は増え続け、健康寿命は平均寿命より男性で 9 年、女性で 12 年短く、QOL 低下と介護の負担が大きくなっています。**医療の発達があれば私たちは病気の無い人生を送れると思っていますが、現状はそうではありません。医療は根本的に何か間違っているのではないのでしょうか。

腸内細菌の重要性

私たちの腸内細菌は、体細胞数の約 10 倍(数百兆)、遺伝子数で約 1000 倍(2000 万)存在しています。**その主な働きは、糖質・脂質代謝、免疫のコントロール、各臓器との通信(脳腸相関、腸腎連関など)、有用物質(神経伝達物質、ビタミンなど)の産生など多岐にわたります。**この腸内フローラバランス、多様性の破綻により様々な疾患が惹起されます。腸内細菌による腸内環境を良好な状態に維持することが病気の発症を抑制する根本的解決に結びつきます。私たちは、食事、生活環境により、この腸内環境を破壊する dysbiosis の状態を知らず知らずのうちに作っているのです。その結果、慢性炎症からがん、自己

免疫疾患、精神神経疾患などを招来することになります。また腸内細菌は生物ですから、私たちの脳の状態、精神状態が腸内細菌にも影響を及ぼします。**その良い相互関係を形作ることが病気を予防することになります。**毎日の楽しい食事がその基本となります。日本人には日本人特有の腸内フローラを形成しています。何千年も海に囲まれた自然の中で暮らしてきた私たちの祖先から伝えられた腸内フローラを自分も持っています。その腸内細菌が喜ぶ食事をする事で、その住処を提供してくれている宿主である人体が健やかであるように働いてくれるのです。例えば、そのおかげで海藻類を分解できる酵素を持つ腸内細菌を日本人は持っています。

健康で暮らすために腸内細菌を育てよう

私たちの毎日の食事に食物繊維、野菜、キノコ類、海藻類を摂取することにより**腸内細菌を育てること**(prebiotics)。私たち日本人の祖先が開発した発酵食品(みそ、納豆、醤油、酢、ぬか漬けなど)や場合によっては乳酸菌製剤(サプリメントなど)を上手に使うことで腸内細菌のバランスと多様性を構築すること(probiotics)。それらを組み合わせて(synbiotics)、日本人として米飯を主として自然の食物繊維や野菜をとっていくことが病気を予防し健康に暮らしていくことにつながるのではないかと思います。腸内フローラは母親、家族、生活環境によって各人各様ですが、病気がなったときや病気を発症する前は、腸内フローラバランスは健康時と比べて大きく変化していることがあります。食事や生活環境を変えるだけではなかなか

腸内環境が変わらなくて病気が遷延化している場合は、**腸内フローラ移植(糞便微生物移植)も選択肢の一つとして検討してもよいか**と思います。腸内フローラ移植臨床研究会では、現在、潰瘍性大腸炎や過敏性腸症候群などの消化器疾患のみならず、自閉スペクトラム症、がん、腎不全で症例を積み上げています。また、現在の腸内フローラバランス検査(便検査)を次世代シーケンサーによる 16S rRNA 解析による独自の菌叢解析を行い、開発したウルトラファインバブル水(NanoGAS®)を使った菌液で移植を行っています。私の最近の論文も参考にさせていただくと幸いです。

Tanaka, Y.; Shimizu, S.; Shirotani, M.; Yorozu, K.; Kitamura, K.; Oehorumu, M.; Kawai, Y.; Fukuzawa, Y. Nutrition and Cancer Risk from the Viewpoint of the Intestinal Microbiome. Nutrients 2021, 13, 3326. <https://doi.org/10.3390/nu13103326>

プラネタリーヘルスの視座から見た腸内細菌

ところで腸内細菌の起源はどこにあるのでしょうか。私たちが毎日食べている食物、とくに野菜ができる土壌の微生物が腸内に移住したものと考えるとよいでしょう。**樹木の落葉、動物の死骸などによる腐植土に生息する土壌菌によって、植物が成長し、それを人間が食べることで腸内細菌による発酵により、腸内環境という腸内の土壌が豊かになります。**その相似関係により、土壌菌、腸内細菌が人間との共生関係を形成し、人間という生物が活動できるのです。その共生関係を維持するためには、太陽、空気、水、そしてその恩恵を受ける山、森、川、海などの自然の存在が必要です。地球という環境で人間が健全に生きていくためには、生物、無生物との健全な共生関係を形作ることが必要であり、医学、農学、工学などの種々の学問との協力により地球の自然環境を守っていくプラネタリーヘルスという視座をもって健康を考えていく時代になっています。

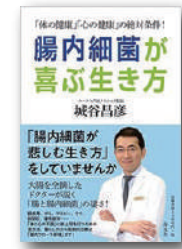
田中 善(たなか よしむ)
医療法人仁善会 田中クリニック 理事長

鳥取大学 医学部医学科 卒業。医学博士(大阪大学)。
大阪大学 第一内科(腎臓内科)、大阪厚生年金病院 腎臓内科医長を経て、医療法人仁善会田中クリニック 理事長に就任。
日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医、日本医師会認定産業医、健康スポーツ医。
点滴療法研究会ボードメンバー
(一財)腸内フローラ移植臨床研究会代表理事
(一社)日本先制臨床医学会理事
(一社)日本オーソモレキュラー医学会理事
(一社)老化制御医学会理事

参考書籍

「腸内細菌が喜ぶ生き方」 城谷昌彦著

腸内フローラ移植臨床研究会理事の城谷先生が自分の経験に基づいて、腸内細菌についてわかりやすく説明しておられます。



「腸と森の「土」を育てる」 桐村里紗著

米子で協生農法を実践しながら、東京大学道徳感情数理工学と共同でプラネタリーヘルスの実現に向けて各地を奔走しておられます。



現在、2 人の先生方とともに、プラネタリーヘルスの活動を開始しています。

お知らせ

私が大会長を務めさせていただきました「第 4 回日本先制臨床医学会」は多くの点滴療法研究会会員の先生方にご参加いただきました。本年度も 11 月に開催いたします。ぜひご参加をご検討いただけますと幸いです。

第 5 回 JSPCM KYOTO 2022 日本先制臨床医学会 学術記念大会
The 5th Annual Meeting of Japanese Society of Preemptive and Clinical Medicine
日時 2022 11/19 (土) 11:00~ 11/20 (日) 9:00~
会場 京都府立 京都市・歴史館
京都府京都市下鴨区本町1-29
新時代に向けた新しい予防・治療
with 統合治療で患者に寄り添う
学術大会 大会長 川上 智史
副大会長 西谷 雅史
名誉大会長 福沢 高孝 / 萬 惠彰 / 田中 善
〒113-0033 東京都中央区本町3-42-1 三葉ビル1階
TEL: 03-3868-5178 FAX: 03-3868-5177
お問い合わせ: 事務局 10:00~12:00
一般社団法人 日本先制臨床医学会 総務部 事務局
JSPCM 日本先制臨床医学会
Japan Society of Preemptive and Clinical Medicine
<https://jspm.org>

点滴・栄養療法 症例報告



N2クリニック ホテル椿山荘東京院 院長

野村 紘史 先生

【略歴】

2002年 東京大学形成外科 入局
 関連病院で形成外科の研鑽を積む傍ら、大学での再生医療基礎研究とヒト幹指針の元での再生医療センター立ち上げに従事
 2013年 米国留学
 ポストン大学での再生医療基礎研究およびハーバード大学関連病院での体幹形成外科研修に従事
 2014年 社会医療法人敬愛会 中頭病院 形成外科
 乳房再建やBody contouring surgery、美容外科の臨床に従事
 2017年 大学発ベンチャー 設立、代表兼務
 培養上清研究とスキンケア製品導出に従事
 2021年 N2クリニック ホテル椿山荘東京院 院長

幹細胞培養上清は多くの種類のサイトカインやエクソソームを含んでおり、その組織修復作用や免疫調節作用により様々な疾患治療や健康増進、アンチエイジング、美容などに応用されています。

幹細胞培養上清により既存の治療では得られない治療効果を臨床で経験することも多く、当院での症例を供覧します。なお、症例2は点滴ではなく局所投与ではありますが、肉眼的に効果を確認しやすいため報告させていただきます。

症例1 81歳 男性

【診断】

中等度の慢性閉塞性肺疾患 (COPD)。呼吸器内科に通院中。

若い頃からヘビースモーカーで、量は減らしたとのことですが現在も1日1箱程度の喫煙があります。日中の移動は車が多く、歩行には問題ありませんが階段の昇降では息切れが生じる程度でした。

【経過】

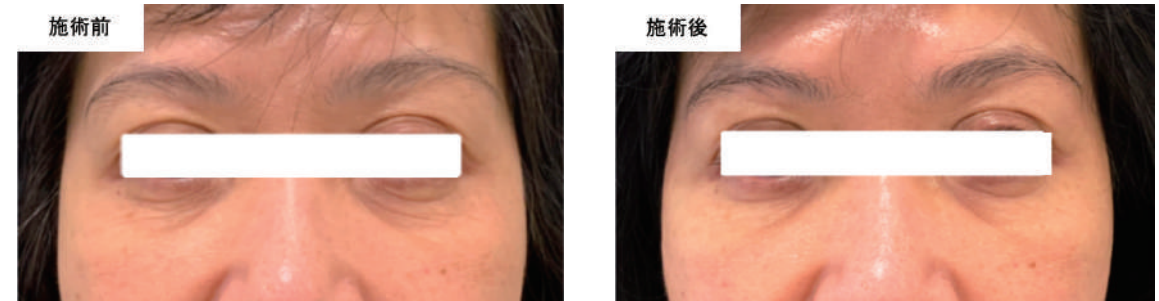
間葉系幹細胞点滴治療に興味を持ち当院受診されましたが、まずは部分的な効果を実感したいとのことで、脂肪組織由来幹細胞培養上清の点滴治療を開始しました。初回の投与で呼吸が楽になったのを自覚されたため、その後、およそ2ヶ月に1回ほどのペースで培養上清2本 (2ml)、生理食塩水100mlの培養上清点滴治療継続を希望されました。

1年ほどの経過で、平常時の呼吸が楽になり、喀痰が減り、階段昇降もおこなえるようになりました。ジョギングやゴルフなどの運動もできるほどにまで改善しました。

また、通院中の内科での呼吸機能検査や、人間ドックでのCRP等の検査値も改善しました。

そのほかの効果として、点滴後数日間、視力が改善する、寝つきが良くなりぐっすり安眠できるようになった、飲酒に強くなり二日酔いしなくなった、食欲が亢進した、男性機能が改善した、などを自覚されました。

幹細胞培養上清が 奏功した2症例



▲ 症例2の施術前後

症例2 58歳 女性

【診断】

顔面皮膚の若返り希望

【経過】

顔面全体に、臍帯由来幹細胞培養上清 1mlをダーマペン3を用いて投与しました。投与の深さとしては表皮から真皮表層をターゲットに、出血が起こらない深度に調節しました。

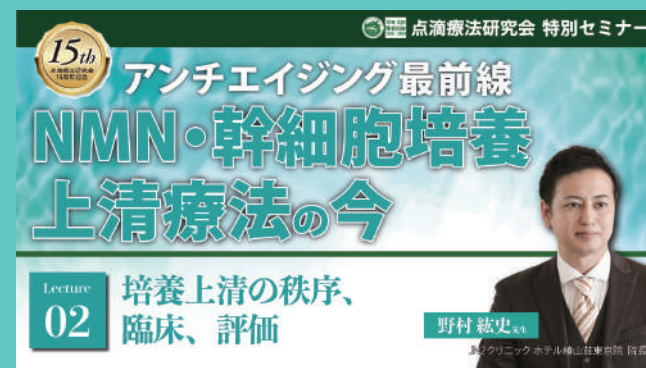
投与1ヶ月後、写真評価にて目尻・目の下の小じわの改善、赤みの改善、しみ・くすみの改善が認められました。また、顔全体が引き締まってたるみが改善した、肌のハリやツヤがよくなった、肌全体がしっとりして化粧の乗りが良くなった、などを自覚されました。

【考察と今後の課題】

幹細胞培養上清はそれ自体が様々な成分を含む混合物であり、さらにその有効成分と考えられるサイトカインやエクソソームは多様な細胞応答の結果として効果を発揮するため、効果を予想することが難しく、個人差も大きいという特徴があります。しかしながら注意深く反応を観察しながらさじ加減を調節すれば、大きな治療効果が得られる魅力的な治療法であり、臨床医の腕の見せ所とも言えます。

とは言え、現状では使用する培養上清の基準・規格等が定まっておらず、どのような製品をどのように使用するのが安全かつ効果的なのかの議論もじゅうぶんとは言えないことが今後の課題と考えられます。

幹細胞培養上清療法も動画で学べます!



点滴療法研究会の動画サイトでは、野村先生がご講演された特別セミナーもご覧いただけます。ぜひ日々の学習にお役立てください。

右のQRコードを読み取ってご覧ください。
※会員ログインが必要です。



点滴・栄養療法 症例報告



大阪肛門科診療所 副院長
佐々木 みのり 先生

【略歴】

平成6年、大阪医科大学卒業。大阪大学医学部皮膚科学教室入局。阪大病院、大手前病院、東京女子医大病院で皮膚科医として勤務。平成10年皮膚科医から肛門科医へ転身。大阪肛門科診療所に勤務し現在に至る。

数少ない女性の肛門科専門医・指導医。

著書「痛み・かゆみ・便秘に悩んだらオシリを洗うのはやめなさい」（あさ出版）は3万部を超えるベストセラーに。

グルタチオン点滴 劇的な症状の改 パーキンソン病

【はじめに】

パーキンソン病に対するグルタチオン点滴の効果は世界的に広く知られており、多くの臨床報告があるが、日本国内においてはレボドパ等の内服治療が一般的で、臨床現場でグルタチオンが使用されることはほとんどないのが現状である。今回、グルタチオン点滴がドラマティックに奏功した症例を経験したので報告する。

【症例】 75歳 女性

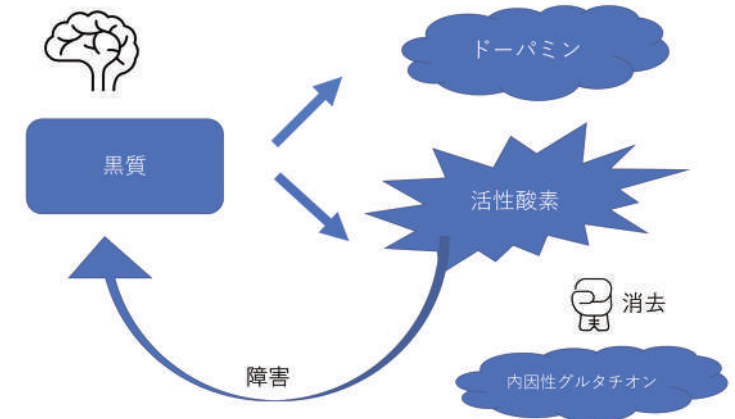
【主訴】
静止時振戦、すくみ足、小刻み歩行、方向転換の困難

【既往歴】
高血圧症、緑内障

【現病歴】
数年前からパーキンソン病で近医にて薬物治療（レボドパ、ドンペリドン、ロチゴチン貼付剤、抑肝散）を受けるも改善なく、症状の進行が見られたため点滴療法を行っている当院を受診。初診時、他者の支えなく歩行ができず、車椅子で来院。椅子から立ち上がる際にも、座る際にも、介助なしにできない状態であった。振戦ひどく、介助してもすぐに歩き出せない、小刻み歩行で方向転換は困難であった。また静止時振戦も上肢と下肢に顕著であった。

【経過】
初診時当日にグルタチオン点滴 800mg を施行。**点滴開始 5 分後に上肢・下肢の振戦が消失。**患者本人が点滴中に「手足が楽になった。しびれがなくなった。」と伝えてきた。30 分かけて点滴静注終了後、自力でベッドから起き上がり、スタスタと歩行する姿に付き添った家族も感動。車椅子で来院し、エレベータを使用し診察室まで移動したが、**点滴終了後、帰りは自力で階段を下りて帰ることができた。**車椅子はその日から不要になった。その後、遠方からの受診ということもあり 1 週間に 1 回のペースでグルタチオン点滴を継続。200mg ずつ増量し最終的に 2,000mg で現在も継続中である。症状が改善してから月に 1 回のペースで

点滴により 善がみられた の一例



点滴を継続しているが、間隔があきすぎると症状の増悪がみられたため、タチオン錠の内服（1日 900mg）を追加したが、点滴ほどの効果は見られなかった。患者本人も「点滴をすると楽になる、症状が明らかに良くなる」と点滴を希望し、現在は内服でグルタチオンを補いながら、月に 1～2 回のペースで通院中である。

【考察】
パーキンソン病は黒質緻密層ドーパミン神経細胞の変性によるドーパミン不足が病因と考えられている錐体外路症状を主徴とした原因不明の進行性変性疾患である。黒質からはドーパミンが生成されるが、生成されるのはドーパミンだけでなく、同時に活性酸素も生成される。活性酸素が黒質に障害を起し、ドーパミンの生成が低下することがパーキンソン病の一因であると言われている。

黒質が生成した活性酸素を消去してくれるのが内因性のグルタチオンである。グルタチオンとはグルタミン酸、システイン、グリシンというアミノ酸から出来ている物質で、体の中に常に存在する物質。この内因性のグルタチオンが低下すると、活性酸素の消去が行われなくなり、黒質に障害が起こる。その結果、ドーパミンの生成が低下すると考えられる。内因性のグルタチオン不足によってドーパミンが低下している症例には、点滴静注によってグルタチオンを補給すると活性酸素が消去され、黒質の障害が改善、ドーパミンの生成が回復するのだから。**点滴療法研究会会員医療機関における調査によるとパーキンソン病に対するグルタチオン点滴の有効率は 49.1%。約半数に効果があるので、薬物治療で改善しない症例にはチャレンジしてみる価値はあ**

るだろう。妊娠悪阻に保険適応があるくらいだから安全性は高い。点滴で効果がなくとも、重篤な副作用も 0.1% 未満と非常にまれで、安全に使える薬剤である。本症例のようなドラマティックに奏功するケースを経験すると、標準治療に加えてほしいと願う。パーキンソン病には一度試して頂きたい点滴療法である。

しかも点滴が終わった瞬間から効果が見られることが多いので、そのビフォーアフターは感動もので、患者本人だけでなく治療者である医師や家族にも希望の光となること間違いないと確信している。

- 【当院の点滴レシピと注意点】
- ① 生食 100 ml
 - ② タチオン 200 mg 4A～10A
 - ③ アスコルビン酸注射液 10 ml 3A
 - ④ バンテニール 1A
 - ⑤ 補正用硫酸マグネシウム 10 ml
 - ⑥ カルチコール 2 ml
 - ⑦ メチコパール 1A

30 分かけて点滴静注。連日やっても問題なし。2 回目よりグルタチオンを 200 mg（1 A）ずつ増量。2000 mg で様子を見る。可能なら週に 1～2 回点滴し、投与開始後 1 か月で効果判定。継続するかどうか決める。投与間隔は 7～10 日間と徐々に伸ばしていく。

*レボドパ投与中はビタミン B6 を併用しない！（レボドパの作用を減弱させる）
*補正用硫酸マグネシウムは血管痛がある場合、20 ml まで増量可能。

症例募集

点滴・栄養療法に関する症例を随時募集しております。詳細は事務局にお問い合わせください。

✉ info@iv-therapy.jp
☎ 03-6277-3318

水上治先生に聞く

露地栽培アガリクス KA21 サプリメントの ガン治療の臨床応用について

ガン患者様に露地栽培アガリクス KA21 のサプリメントを 25 年以上ご活用いただいている健康増進クリニック水上先生に、アガリクス KA21 の安全性・有効性に関するインタビューを行いました。

01

薬用キノコ 「アガリクス」に 興味を持ったきっかけ

もともと日本にはキノコは健康に良いといった認識があり、薬用キノコの免疫増強作用が注目され「天然の抗ガン剤、制ガン剤」にならないかと様々な研究が行われていました。

その中で、世界でも初めてキノコ由来の抗ガン剤として開発されたのがシイタケ由来のβ-グルカンを原料とした抗ガン剤「レンチナン」です。私自身もそういった薬用キノコ研究の経緯を知っており、免疫賦活作用に注目して、様々なキノコのサプリメントを試しましたが、実際に使ってみるとどれも効果はいまいちでした。

私のクリニックでは進行ガンの方が多いといった特徴から、本当に質が良いものが欲しいと考えており、そんな中で見つけたのが露地栽培したアガリクス KA21 です。

02

アガリクス KA21 の 評価ポイント

まずは、見た目の迫力に目をひかれ、「これは、本物っぽい」と直感しました。キノコは種類や栽培方法によって特長が大きく異なるかと思えます。アガリクス KA21 は①過酷な自然環境の中、さんさんと日光を浴びて露地栽培されており、アガリクスの主成分β-グルカンやビタミンDが豊富。②アマゾンに代表される土地の肥えたブラジルの大自然のエネルギーをたっぷりと吸収して育てているため栄養価が高い。この2つの特長に加え、私はサプリメントを選ぶ際には、企

業の人間性を大切にしており、メーカー（東栄新薬）のエビデンスを科学的に立証したいとする、まじめなスタンスにも信頼感を感じました。そして、ブラジルの露地栽培農場も訪問し、ブラジルの人たちが誠心誠意、ていねいにキノコを育てているのを確認することもできました。その後、実際に使ってみたところ、本当に質がよくキノコのサプリの中では「間違いなくNo.1」であると実感しました。

また、その後の研究体制においても真摯に研究を継続し、エビデンスも査読付きの海外論文として32本発表しているところも非常に評価しています。



▲ブラジル マンチケラ の大自然の中で露地栽培されたアガリクス KA21

03

アガリクス KA21 の ガン治療の臨床での 使い方について

- 1 抗ガン剤の副作用軽減
- 2 高濃度ビタミンC点滴との併用
- 3 免疫療法との併用
- 4 CTC 検査でアガリクスの感受性が高いケース
- 5 ご高齢でガンとの共存を選択するケース

抗ガン剤の副作用軽減

まず、アガリクス KA21 を活用する際に、その有効性を確認しやすいのが、抗ガン剤と一緒に利用するケースです。骨髄抑制、消化器症状や脱毛などの抗ガン剤の副作用軽減作用がマウス試験で確認されており、実際にアガリクス KA21 を摂取しているガン患者様でも抗ガン剤の副作用軽減作用を実感しています。そして、ガン患者様の体調を良い状態で維持できるため、抗ガン剤自体の効果も高める作用も期待できます。私の施設では、保険診療と並行してアガリクス KA21 を摂取しているガン患者様が多いですが、主治医から、「経験則からある程度の抗ガン剤による効果を期待してたけど、予想以上に抗ガン剤の効果が出ている」といったことを言われる患者様が多くいらっしゃいます。

高濃度ビタミンC点滴 との併用

また、このコラムをお読みになられている先生方の多くが高濃度ビタミンC点滴を導入されているかと思えます。アガリクス KA21 はヒト臨床でNK細胞の活性化が確認されており、抗酸化活性も高いことから、通院での高濃度ビタミンC点滴に加え、自宅でサプリメントとしてアガリクス KA21 を摂取することで、より高い有効性も期待できるかと思えます。

04

印象に残っている 症例について

〔スキルス胃ガン 67歳女性〕

2001年春にスキルス胃ガンと診察され、胃の全摘手術を受けました。病理検査の結果、ステージⅢで腹膜リンパ節への転移も認められました。非常に予後が思わしくない状態で、主治医に家族が呼ばれ1年後の生存率は1割と宣告されました。何とかしたいと統合医療の可能性を探り、アガリクス KA21 の摂取を開始。化学療法も受けましたが、副作用は軽微で済みました。その後の5年間アガリクスを摂取し、再発は認められませんでした。「1年後の生存率は1割」と宣告されてから10年以上が経過し、再発は認められていません。

05

これから アガリクス KA21 を 臨床現場で活用しようと 思う先生方へ

アガリクスに関しては、以前中国産アガリクスで肝機能障害が発生し、アガリクス全般に対する風評被害が発生したことがありました。そのため、なんとなくアガリクスに対して、ネガティブなイメージをお持ちの先生方もいらっしゃるかと思います。しかし、アガリクスは食用キノコとしての歴史があり、さらに、このアガリクス KA21 に関しては、ヒト臨床による安全性・有効性試験も行われているので、安心して臨床現場でご活用いただけるかと思えます。

メーカーも実際に試していただくため、臨床サンプルを用意しているとのことですので、まずは、先生ご自身で臨床サンプルをお試しになり、体感を確認したうえで、ガン患者様にご紹介されてはいかがでしょうか？



水上 治 (みずかみ おさむ)
健康増進クリニック 院長
弘前大学医学部卒業。東京医科歯科大学医学博士、米国ロサンダ公衆衛生大学院公衆衛生学博士。都内内科勤務医を経て、健康増進クリニック開業。健康増進があらゆる疾病克服の鍵とする医療を展開中。一般財団法人国際健康医療研究所理事長。国際オーソモレキュラー医学名誉殿堂入り。日本オーソモレキュラー医学会理事。点滴療法研究会ボードメンバー。国際個別化医療学会理事。「超高濃度ビタミンC点滴療法」「日本一わかりやすいがんの教科書」(PHP)、「日本人に合ったがん医療を求めて」(ケイオス出版)など著書多数。

ALBEX 20th Anniversary



乳酸菌生成エキス アルベックス 発売 20周年

乳酸菌生成エキス アルベックス® 【医療機関専用】



おかげさまで発売 20周年 これからも、医師とともに




無料 30日分プレゼント!

先着50名限定

点滴療法研究会会員様で初めて資料請求される医師・歯科医師の方

FAX:03-3288-0116 (メディカルグループ宛) ▲

貴院名	ご担当	QRコードから資料請求 製品を選択していただき必要事項をご入力の上、「お問合せ内容」欄に『点滴療法研究会』をご入力ください。また、その他ご質問や勉強会のご希望の場合はその旨もご入力ください。後日担当者よりご連絡いたします。 【お問合せ内容欄記入例】 点滴療法研究会 連絡希望  https://bandscorp-medical.jp
ご住所 〒		
TEL	FAX E-mail	
備考 何かご希望などございましたらご記入下さい。		
連絡希望 / 面談希望 (現地・WEB) / 勉強会希望		

ガンが嫌なら 野菜を変えなさい

オーガニック野菜に含まれるサルベストロールとは?

発見からわずか17年で、がん治療に導入

食物に比べ約3〜30倍といわれています。本書ではサルベストロールがオーガニック農作物に多い理由、がん細胞を死滅させる脅威のメカニズム、上手に摂取する食事のコツ、働きを邪魔する成分まで、その力を最大限に引き出す知恵が、ふんだんに盛り込まれています。読了後はこのタイトルに大きく納得することは間違いありません。

800円 (税別)
Amazonから購入

WEBサイトではサルベストロールについてさらに詳しくご紹介しています。
サルベストロール研究会 salvestrol labo
https://salvestrol-labo.com

有機野菜のイメージ

Doctor's Organic Box

医療従事者のための医師が選んだ「食」が学べる宅配便

石黒医師監修のもと、毎月のテーマに沿った【食と健康の情報誌】と、厳選したオーガニック&ナチュラルな【食品セット】をお届けします。

1回分のお届け内容

- 食と健康の情報誌
- 食品セット

【1回分の例】

- 月のテーマ食材 1〜2点 (バター、プロッコリー)
- 野菜 5〜6種類 (小松菜、ケール、もっさいも、人参2〜3本、まいたけ)
- 果物 2〜3種類 (りんご、ぶどう)
- 定番商品 3種類 (朝日×1、ヨーグルト×2、有機ニンジンジュース×6本)
- 手軽に食べれるナッツ、スナック 1〜2種類 (くるみ、海そうチップス)

資料請求で「腸内環境改善サポート」冊子のサンプル無料プレゼント中!

資料請求はこちら

【監修医師】
アクアメディカルクリニック
院長 石黒 伸 先生

開催報告

NMN・幹細胞培養の今

アンチエイジング最前線

15th
点滴療法研究会
15周年記念

ご挨拶

この度、点滴療法研究会15周年企画第一弾として2022年3月6日、大崎プライトホールにて特別セミナーを開催しました。座席数の制限・マスク着用・手指消毒・検温・マイクの消毒など感染症対策を講じた上での開催となりましたが100名を超える先生方にご参加いただきました。また、出展ブースも17社と非常に多くの企業様にご参加をいただき大盛況のセミナーとなりました。

今回のセミナーのテーマは「アンチエイジング最前線」。中でも、特にお問合せとご要望が多かったNMNと幹細胞培養上清療法、それにまつわる医療経営に関する内容を6名の先生方にご講演していただきました。各分野のエキスパートである講師の先生方による講演は非常に具体的で興味深い内容でした。

NMN

ミライラボバイオサイエンス株式会社 外部取締役
平松 隆司 先生



『NMNの基礎と作用機序』

NAD(ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド)はその還元型であるNADHとの酸化還元反応を介して、サーチュインなどを介する細胞内のさまざまな酵素反応の補酵素として働く代謝物です。現在、哺乳類の様々な臓器で加齢とともにエネルギー代謝に必要なNAD+量が減少し、老化による機能低下、病態の原因となっていることが明らかとなっており、身体的フレイルへの進展に生体でのNAD+量の低下が関与している可能性が示唆されています。NAD+合成中間体であるNMNをマウスへ長期投与すると、幅広い抗老化作用、身体活動量の増加、骨格筋のミトコンドリア機能改善や糖尿病網膜症の予防効果が認められることが報告されています。NMNはすでに国内外でサプリメントとして販売されており、米国ワシントン大学及び国内の4施設(慶應大学・広島大学・大阪大学・東京大学)においてヒトの代謝系等への影響を観察する臨床研究も実施。また、NMN点滴については東京銀座ウェルネス&エイジングクリニックにおいて臨床研究を計画しています。

※平松隆司先生のご講演動画の販売はございません、ご了承ください。



会場の様子

今回は改めて講演内容の概要をご紹介します。また、会員の皆様のご要望にお応えし、講演動画の販売を開始いたしましたのでこの機会に是非ともご利用ください。

JAAS 日本アンチエイジング外科学会 学術顧問 / 医療法人社団東京MIT 理事長 医学博士
宇野 克明 先生



『新たなステージに入った「若返り医療」ゲノム・エピゲノム系の「若化(じゃっか)」対策—GHRP-2/NMNを中心に—』

従来、若返り対策には「アンチエイジング(抗加齢)」「アンチオキシダント(抗酸化)」といった対策・工夫が中心となっており、その後の分子細胞生物学・遺伝学等々の研究進歩/応用は、新たに「ゲノム系」「エピゲノム系」という若返り「若化(じゃっか)」対策の誕生につながっています。講演では「Clinical Research and Feedback」を念頭に置き、その新たな若化対策・治療について解説しています。



企業ブースも大好評でした!

幹細胞培養上清

医療法人社団 隆聖会 理事長
吉見 洋志 先生



『歯科における幹細胞上清入門—歯科開業医の新たな取り組み—』

幹細胞治療は、昨年の東京オリンピックの池江璃花子選手の活躍でさらに世の中に知られることになりました。しかし、細胞移植は患者にとっても開業医にとってもハードルが高いのが現状です。そんな中、幹細胞上清が注目され幹細胞治療は細胞移植から上清へとシフトされつつあります。現在、医療のあらゆる分野で細胞上清が用いられ成果を上げています。

今回それらの情報を先生方と共有し当院での上清への取り組みもご紹介することで、幹細胞上清の可能性を感じていただき、まだ幹細胞上清治療を導入されていない先生方の導入のきっかけを作れたら幸いです。

経営

株式会社薬事法ドットコム 社主 / M&M法律事務所 最高顧問 / 医療グループJTA 理事長
林田 学 先生



『NMN、上清液、セカンドラインを構築して年商1億!』

NMNについてはパイオニア社のコンサルを行い、幹細胞上清液についてはIPOを目指すT社とも連携しています。

銀座予防医療クリニック 院長 / 一般社団法人国際予防医療協会 代表理事 医学博士
青木 竜弥 先生



『今すぐできる幹細胞培養上清点滴療法』

臨床現場で実際に行っている治療法をご紹介します。作成法、投与方法、注意点、副作用など実践に即してお話するのですぐに使える内容です。応用編としてクリニックで実際に行っている事例も紹介します。

N2クリニック ホテル椿山荘 東京院 院長
野村 紘史 先生



『培養上清療法の機序、臨床、評価』

幹細胞培養上清は昨今その臨床応用が非常に注目されています。元々は再生医療への注目とともに化粧品マーケットがいち早く目をつけた訳ですが、パラクリン効果の解明など再生医療研究の進展とともに臨床応用が進んだらば「瓢箪から駒」の素材です。本講演では現在考えられている培養上清の効果機序と、関連するレギュレーションにも簡単に触れています。次に症例を供覧し培養上清療法の発展性と課題を共有。最後に培養上清自体をどのように評価していくかについて議論していきます。



ボードメンバーの田中先生と野村先生

最後に

当日ご参加いただいた先生方のアンケートを一部ご紹介いたします。

- 明日から臨床に生かせる内容が目から鱗で楽しかったです。(歯科医師)
- どのセミナーも大変実践的な内容で参加して良かったです。(医師)
- 新しい医療だからこそ安心、安全な施術方法や薬剤の選定が必須となることを改めて学ぶ事ができた。(医師)

上記のようにたくさんのご意見を頂きました。ご参加いただけなかった先生にも、ぜひご視聴いただきたい内容のセミナーです。動画サイトで配信しておりますので、お見逃しなく!



ご登壇いただいた先生方と柳澤会長

※ログインが必要です。



点滴療法研究会
×
日本オーソモレキュラー医学会
合同開催

国際栄養医学 シンポジウム 2022

NEW AGE MEDICINE
新時代栄養医療がつくる健康な未来

2022年
9月18日~19日 月祝

会場：JP TOWER Hall & Conference

早期割引は
7/19まで

今すぐお申し込みください！



ご挨拶



会頭
点滴療法研究会
マスターズクラブ会長
柳澤 厚生

おかげさまで、点滴療法研究会は2022年で15周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様のお陰と深く感謝しております。事務局一同初心に戻り、一層の努力をしていく所存です。今後とも何卒ご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

15周年を記念し、「国際栄養医学シンポジウム2022」を点滴療法研究会と日本オーソモレキュラー医学会の合同で2022年9月18日から19日の2日間に渡り開催する運びとなりました。

講師は栄養療法・点滴療法や統合医療の第一人者、エキスパートの先生30名以上を国内外より招聘します。ご参加いただく皆様は、両会の医師・歯科

医師・獣医師はもとより、コメディカルの方や薬剤師の方など、2日間で延べ1,200名以上の来場者を見込んでおります。

点滴療法やオーソモレキュラー医学はこのコロナ禍という未曾有の事態において、注目を浴びている治療法です。

今回のシンポジウムでは、各分野の臨床家・研究者が一同に会し、点滴療法とオーソモレキュラー療法を二本の大きな柱とする新しい医学の殿堂を築く端緒となることを期待しております。厳しい状況の中ではございますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

オススメの講演を一足先にご紹介！

基調講演

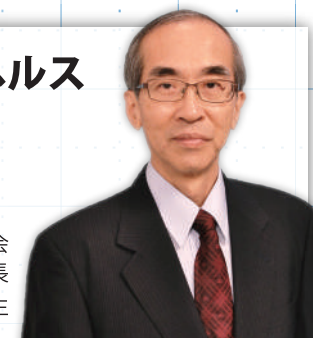
老化時計を用いた
ライフスタイルへの介入

近畿大学 客員教授
近畿大学アンチエイジングセンター創設者
山田 秀和 先生



プラネタリーヘルス
としての
腸内フローラ

医療法人仁善会
田中クリニック 理事長
田中 善 先生



エクソソーム
(培養上清)
の点滴

セルソース株式会社
取締役
山川 雅之 先生



口腔脳腸関連
これからの医科歯科連携の
メインストリーム

森永歯科医院 院長
森永 宏喜先生



がん医療
最新情報

健康増進クリニック 院長
水上 治 先生



登壇される先生やプログラムの最新情報は、特設サイトにて随時更新いたします。ぜひご覧ください。



最新海外医学情報 Pick up News

マグネシウム：T細胞を活性化させるメカニズムが解明

当会でも近年注目しているマグネシウムは、不足することで癌細胞の増殖や、感染症への防御機能低下を引き起こすことが報告されているが、免疫系に具体的にどのような影響を与えるのかは解っていなかった。2022年1月にCell誌で発表された論文では、MgがT細胞の活性化を促すことで免疫機能を向上させるメカニズムが報告された。T細胞の表面には感染細胞や異常細胞と結合する役割を持つLFA-1と呼ばれるタンパク質が存在するが、不活性状態では効率的に結合できない。MgがT細胞周辺に十分に存在すると、MgがLFA-1と結合することで活性化した正しい状態を保つことができる。つまり、T細胞はMgが豊富な環境下でのみ異常細胞やウイルスを効率的に排除できるのである。この結果は、免疫機能障害や癌患者にとっても大きな意味を持ち、更に癌免疫療法においてもMgの補充が必要不可欠であることを示唆している。

Lötscher J, et al. Magnesium sensing via LFA-1 regulates CD8 T cell effector function. *Cell*, 2022; Feb 17;185(4)

アメリカ国民のIQを8.2億ポイント下げた『鉛』の存在

現代の米国人成人は、幼少期に暴露した鉛によって、合計8億2400万点のIQを失ったことが、PNASに掲載された研究により明らかになった。鉛は、1920年代からガソリンに添加され始め、80年頃まで米をはじめ世界中で使用されていた。現在でも一部の飛行機燃料などに使用されている。鉛が体内に入ることによって、神経系、生殖系、心血管系などに悪影響を及ぼす可能性があり、特に乳幼児や子供では成長障害、学習障害、情緒・行動の問題、IQの低下を引き起こすことが分かっている。

今回の研究結果では、有鉛ガソリンが多く使用されていた1966~70年の間に生まれた人が平均5.9点/人のIQ欠損と、最も大きな影響を受けたと報告されている。成長期に失われたIQを取り戻すことは難しいが、現在も続く鉛汚染による新たな影響を防ぎ、蓄積した体内の有害重金属を除去するために、デトックス法やキレーション療法がさらに注目される可能性がある。

McFarland MJ, Hauer ME, Reuben A. Half of US population exposed to adverse lead levels in early childhood. *Proc Natl Acad Sci*. 2022 Mar 15;119(11)



抗生物質の使用が認知機能の低下を招く

脳と腸は自律神経系やホルモンなどを介して密に関連しており、『腸脳相関』という概念が注目されてきた。近年では腸内細菌叢と中枢神経機能の関係性も注目され、腸内環境の変化と、うつ病、自閉症スペクトラム障害、統合失調症、不安神経症、アルツハイマー病などの精神・神経疾患の発症の関連性が、多くの研究で示唆されてきた。2022年3月にPLoS ONEで新たに報告された研究では、中年期の慢性的(2か月以上)な抗生物質の使用が、7年後の認知能力(注意力、学習力、ワーキングメモリー、精神運動速度)の低下と関連していると報告された。

抗生物質は、その性質上、細菌を死滅させるため、腸内の微生物群集を変化させ、その影響は、曝露後数か月から数年間続く可能性がある。全身の健康増進や予防医学を志す医師としては、不必要な抗生物質の使用を減らすと同時に、抗生物質使用後の腸内ケアにも気を配る必要がある。

Mehta RS, Lochhead P, et al. (2022) Association of midlife antibiotic use with subsequent cognitive function in women. *PLoS ONE*. 2022 Mar 23; 17(3)

グルタチオン前駆体のサプリが老化を遅延し寿命を延ばす可能性

体内のグルタチオン量は、通常加齢とともに減少し、ミトコンドリア機能の低下や酸化ストレスの増加、炎症、筋力の損失、代謝異常、認知機能の低下などを引き起こし、全身の老化に関連している。Nature誌に掲載された新しい研究では、とあるサプリメントがマウスの老化の兆候を改善し、寿命を24%延ばしたと報告された。投与されたのはアミノ酸であるグリシンとN-アセチルシステイン(NAC)で、抗酸化物質であると同時にグルタチオンを構成する主な前駆体である。2021年には、ヒトを対象とした試験でも、これらのサプリメントによる筋力と認知力の向上といった結果が報告されており、ヒトの老化をある程度遅らせることができるのではないかと期待されている。

Kumar P, et al. GlyNAC (Glycine and N-Acetylcysteine) Supplementation in Mice Increases Length of Life by Correcting Glutathione Deficiency, Oxidative Stress, Mitochondrial Dysfunction, Abnormalities in Mitophagy and Nutrient Sensing, and Genomic Damage. *Nutrients*. 2022; 14(5):1114.



再生医療の父として… 松山 淳 先生

点滴療法研究会のボードメンバーである松山淳先生がご逝去されました。松山先生は欧米のアンチエイジング医療を日本に導入した立役者であり、世界各国より招聘されて講演をし、日本と各国のパイプ役として大活躍をされました。点滴療法研究会では国際標準の点滴療法をクリニックで実践できるように会員に指導をなさってくださいました。松山先生は私の母校の杏林大学医学部の後輩であり、家族ぐるみのお付き合いをしています。今でも、ふとしたときに彼が笑顔でアロハを羽織っている姿が目に見えます。点滴療法研究会では、松山淳先生の功労と感謝を込めて名誉の殿堂入りを授け、心より哀悼の意を捧げます。
合掌 点滴療法研究会マスターズクラブ 会長 柳澤 厚生

松山 淳先生
医療法人社団松寿会松山医院 院長

1984年杏林大学医学部卒業。その後、慶應義塾大学大学院 研究生を経て、慶應義塾大学医学部病理助手、慶應義塾大学医学部附属厚生女子学院講師、国立病院臨床研究部室長等を歴任。1998年、米国抗老化医学研究所に渡米。現在は松山医院、紀尾井町プラザクリニック等で臨床を行う。米国抗老化医学会(A4M)役員、欧州抗老化医学会(ESAAM)役員。点滴療法研究会ボードメンバー。

■COLUMN (2021年6月 配信) アンチエイジング(加齢制御)医学とオーソモレキュラー医学

アンチエイジング医学は①老けない(外見的にも、内面的にも)②病にならない③死なない(健康寿命を伸延)を目的とした個別化総合医療です。アンチエイジング医療は1990年米国のラドマンらが60歳以上の在郷軍人を使ったテストステロン補充トライアルで若返り効果が得られた事を発端に、脚光を浴びるようになりました。日本へのこの医学の上陸は1997年ころになります。この頃のホルモン投与は比較的高用量で今考えれば、乱暴なものでした。

そして、其の後、ホルモンだけでなく、様々な代謝マーカーを検査して至適値を設定し、監視しながら適量を補充して、体内環境の適正化をはかる事(ホルモン環境やオーソモレキュラー的体内バランス維持、抗酸化、抗糖化)、遺伝子診断やリキッドバイオプシー等でリスクの発見と対策、美容外科や美容皮膚科的な外面の若返り等が様々なレベルで行われるようになりアンチエイジング医学はより確立されたものになってきました。その結果、平均寿命が伸び、また、見た目の若さや体力なども確実に延長し、現在の60歳代は以前よりかなり若い印象になってきました。近年では幹細胞の減少や幹細胞自身の老化にもメスが入れられ、幹細胞治療やその培養上清を用いた治療も盛んになってきています。

最近の話題はNMN(ニコチン・アミド・ヌクレオチド)が脚光を浴びています。このNMNはナイアシン(ビタミン B3)の代謝経路の中間体であり、これがNAD+に代謝され、その結果、サーチュイン(長寿)遺伝子の1-7の活性化、ミトコンドリアの活性化等が期待されるとして、内服、外用、点滴など様々な形で投与され、ブームとなっています。

ここで注意したいのは、NMNは非常に安全性が高いのですが、無計画に過剰に摂取した場合、逆に細胞老化を促進したり、がんの増殖を引き起こす可能性も秘めています。事実、NMN研究の第一人者、ハーバード大学のデビッド・シンクレア教授も最近のインタビューで「現在がんがある人は(NMN)を

用いるべきでない」と明言しています。NMNを用いる場合はその代謝を理解しているオーソモレキュラー医学会の医師などに相談し、ファステングや適度な運動と組み合わせ、NMNを適量で用いる、又は安全な代謝経路対策をするか、より安全なナイアシンで摂取されることを推奨します。

アンチエイジングはまだまだ発展途上の医学であり、日進月歩な分野でもあり、時にはミスリードすることもあります。体内の事象は基本、代謝とそれを司る酵素や微量栄養素の働きを無視しては成り立ちません。オーソモレキュラー医学はそういった、アンチエイジング医学の基礎にもなっていますので、アンチエイジングを実践するにあたっては、是非オーソモレキュラー医学から学んでいただければ、より深い、そして安全な加齢制御が可能になると考えております。



(左) 2019年忘年会にて柳澤会長との2ショット



(下) 2016年オゾン療法マスタートレーニングコースにてボードメンバーの集合写真



Jcit Member's Clinic 第四回

会員クリニックのご紹介



ハートフルクリニック 院長 平良 茂先生

【略歴】
 1989年 琉球大学医学部医学科卒業
 1989年 琉球大学医学部第二内科 研修医
 1990年 浦添総合病院 医師
 1993年 琉球大学第二内科 循環器内科医師
 1995年 白寿会理事長兼ハートフルクリニック院長

クリニックに導入している点滴療法

- 高濃度ビタミンC点滴療法 (がん治療)
- 高濃度ビタミンC点滴療法 (アンチエイジング)
- アルファリポ酸点滴療法
- マイヤーズカクテル (ビタミン・ミネラル点滴)
- グルタチオン点滴療法 キレーション療法 (Ca-EDTA)

- キレーション療法 (Na-EDTA)
- プラセンタ療法
- 血液オゾン療法
- オーソモレキュラー栄養療法

クリニックの特徴

当院は、予約制、完全自由診療、分子レベルの代謝栄養療法を実践するクリニックです。その栄養療法は、タイラズメソッドと言われています。

32の代謝経路図を中心とした3000枚を越える代謝経路図を駆使し、体の中で起きている分子レベルの異常を見つけ出すとともに、栄養療法に必要な情報を1800項目以上掲載したサプリメント療法レシピファイルと呼ばれるエクセルファイルや、浸透圧の自動計算を可能とした点滴療法レシピファイルを用いて、

治療に必要なサプリメント、栄養素材、食材、必要な点滴、ライフスタイル、入浴剤、解毒や抗酸化に向く調理方法、次回外来で必要な検査などを記載したアドバイスシートを作成し提供しています。

通常の外来に加えて、遠隔サプリメント外来と称して、採血、フードアレルギー検査、広範囲糞便検査、尿有機酸検査、毛髪検査などのデータをもとにアドバイスシートを作成して、Eメールで治療メニューを返信しています。

専門分野・得意とする点滴療法を教えてください

これまで治療した疾患は、自閉症、統合失調症などの精神疾患、癌の統合医療、関節リウマチなどの自己免疫疾患、乾癬やアトピー性皮膚炎、天疱瘡などの皮膚疾患、動脈硬化、高血圧、糖尿病、潰瘍性大腸炎、アドレナルファティーグなどです。動脈硬化は、キレーション点滴を実施し、数多くの改善例があります。

癌統合医療では、栄養やサプリメント療法が基本ですが、点滴では超高濃度ビタミンC点滴、αリポ酸点滴、自家癌ワクチン療法を実施しています。

アンチエイジング目的には、キレーション点滴やNaキレーション点滴、マイヤーズカクテルを実施しています。

アドレナルファティーグに対しては、数カ月サプリメント療法を実施した後、1回のアミノ酸点滴をしたところ劇的に改善した症例があります。



クリニック待合室



クリニック玄関

先生が治療や点滴において心掛けていらっしゃることを教えてください

【1】治療に関して

採血や尿有機酸検査などを用いて、分子レベルの代謝異常や栄養素の過不足を把握し、栄養素の補充のみならず、栄養素の吸収を促進する調理法、解毒と消化吸収のための胆汁排泄を促進する食材選び、時間栄養学を用いた摂取タイミングなどに配慮しています。

【2】点滴に関して

点滴で注意する点は主に2つです。点滴材料の中には、EDTAとアミノ酸剤など、点滴ボトル内に細かい浮遊物を作る組み合わせがありますので、それらに気をつけることや、浸透圧を考慮する必要があります。

浸透圧の調整は、点滴材の添付文書内に掲載されている浸透圧比から計算できますが、点滴療法レシピファイルを用いると薬剤名と配合量、ml数を入力すると自動的に浸透圧が算出されるようにしているので、安心して点滴できます。

マスターズクラブ会員の先生へのメッセージ

ぜひ一度、クリニックにお越しください

分子レベルの代謝栄養療法は、奥が深く、その実践には、知識や経験のみならず、それらをデジタル記録としてまとめたデータベースも必要です。私が沖縄で実施するタイラズメソッド各論セミナーでは、データベースとしてサプリメント療法レシピファイルや点滴療法レシピファイル、代謝経路図32枚を提供していますので、今後の栄養療法、点滴療法を促進

する、あるいはその一助になると思います。

現在コロナ禍でセミナーは実施していませんが、年内に再開することを検討しています。その情報は、ドクタータイラ×統合医療で検索すると私のブログが出て来ますので、セミナー情報や各種栄養療法に関する情報をゲットできますので、今後の参考にして下さい。



キレーション&セミナールーム



アドバイスルーム

統合医療・アンチエイジング&キレーションセンター ハートフルクリニック

■電話番号 098-994-7436
 ■公式サイト <http://www.heartfulclinic.com>

■責任者 平良 茂 院長 琉球大学卒業
 ■所在地 〒901-0311 沖縄県糸満市武富169-2
 ■診療時間 火~金曜日 9:00~12:00 / 14:00~17:00
 土曜日 9:00~12:30
 ※外来は木曜日午後のみ ※完全予約制・自費診療

教えて！柳澤会長！ 今更聞けない 点滴療法！ の基本 part.1

点滴療法にはおさえるべき基本がたくさんあります！
会員の先生方から多く頂く質問への回答をまとめました。



高濃度ビタミンC点滴に硫酸マグネシウムを添加する理由と量を教えてください。



血管痛の予防効果などを期待します。

高濃度ビタミンC点滴の場合、静脈がスパズムを起こして点滴剤の鬱滞により血管痛を惹起することがあります。硫酸マグネシウムを添加することにより静脈を拡張させて血管痛を予防する効果を期待しています。
量は、通常 25g の高濃度ビタミンC点滴には「補正用硫酸マグネシウム」を 2～5cc 入れます。
また、硫酸マグネシウムは不定愁訴や慢性疲労の改善にも効果が期待でき、安全性の高い製剤です。そういった患者様には 10～20cc の硫酸マグネシウムを添加しています。



高濃度ビタミンC点滴の際、蒸留水ではなく生理食塩水や他の輸液製剤（細胞外液補充液等）を使用することは可能でしょうか？



必ず、蒸留水を使用しましょう。

高浸透圧のビタミンC製剤を使用しているため、蒸留水でない溶液の浸透圧が高くなりすぎます。高濃度ビタミンC点滴は蒸留水を使用してください。マイヤーズカクテルやグルタチオン点滴の場合には生理食塩水を使用します。



点滴バッグやビタミンCバイアルの中に小さな異物が混入していることがあるのですが、原因がわかりません。



コアリングの可能性があります。

コアリングにより、ゴム栓の破片が混入した可能性があります。薬液を吸入する際は輸血針や 18G 等の太い針は使用せずに薬液吸入用のプラスチック針を使用してください。

動画サイトはこちら



より詳細な情報をご覧いただける動画を当会の動画サイトにて会員無料でご用意しています。
ぜひご覧いただき、日々の診療にご活用ください。

information

Special
スペシャルベーシックセミナーⅠ
～明日から導入できる～
3大点滴療法を実践的に学ぶ

2022年 7月10日 SUN
会場開催（東京）

早期割引 6/10 (金)

特別講師
堀江重郎 先生
柳澤 寿生 先生

2022 年も
スペシャルベーシック
セミナー開催！

知識のブラッシュアップには、ベーシックセミナーⅠの再受講もオススメ！会員の先生方は再受講制度がありますのでご活用ください。

今年の基調講演には順天堂大学大学院主任教授であります堀江重郎先生がご登壇されます。お楽しみに！

お申し込みはこちら



点滴療法研究会が提供する

導入 から 定着 まで

トータルサポートのご案内

点滴療法の基本を学ぶ

基本となる点滴療法のプロトコルや導入ノウハウなど、明日から導入できる実践的な内容を学ぶセミナーをご用意しています。

点滴手技を学ぶ

「ハンズオンセミナー」や、コメディカルスタッフにもおすすめのオンライン学習動画、点滴手技マニュアルをご用意しています。

最新の点滴療法や自由診療のノウハウを学ぶ

年間10回以上のセミナーやオンライン学習動画、専門家によるコラム配信など、様々な学びの機会をご提供。海外の最新情報も！

自院の認知を広げる

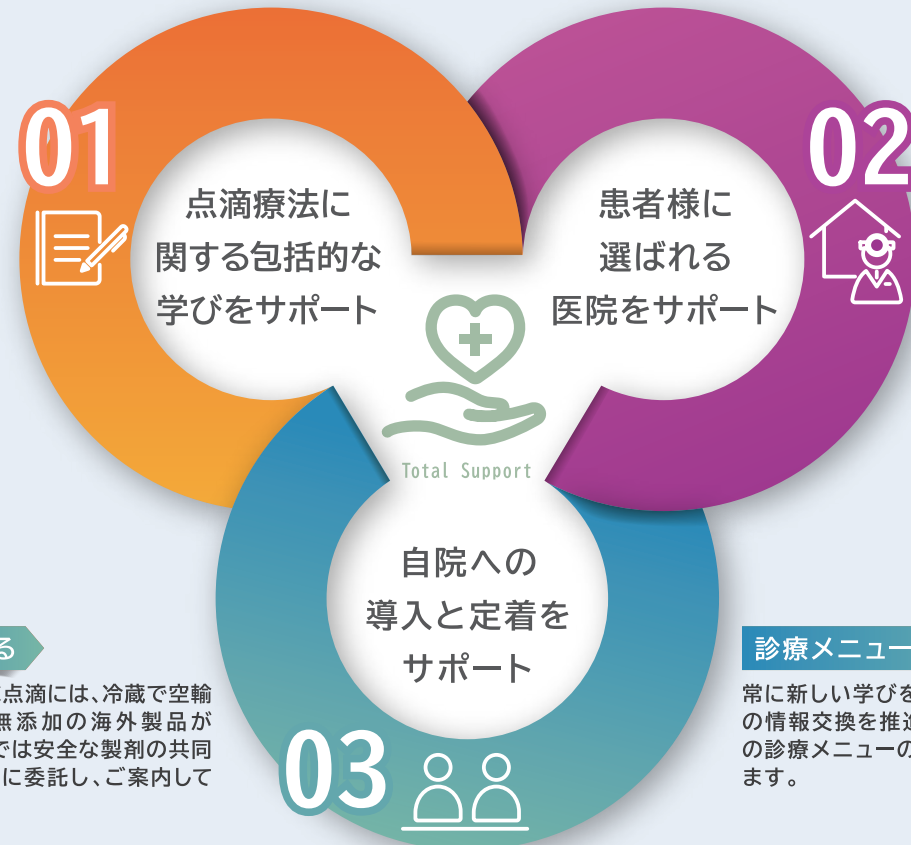
会員クリニックの検索サイト（年間検索数30,000回以上）で、点滴療法を受けたい患者様と医院のマッチングを支援。様々な集患サポートも！

点滴療法を選ばれるメニューにする

院内掲示や患者様への説明に使えるリーフレットや院内動画など、販促ツールを提供。また、メディアやウェブでのPR活動を通じ、点滴療法および会員クリニックの認知拡大を行います。

認定医として信頼度を上げる

真摯に点滴療法を学び、正しい方法で治療を提供できる会員医師を明確にし、患者様からの信頼度を向上させるために認定医制度を設けています。



製剤を揃える

高濃度ビタミンC点滴には、冷蔵で空輸された防腐剤無添加の海外製品が必要です。当会では安全な製剤の共同輸入を専門業者に委託し、ご案内しています。

疑問点を解消し、安全に提供する

当会会員は、医学的な疑問点をいつでも質問することが可能です。当会会長もしくはボードメンバーが回答するので、安心して点滴療法を提供していただけます。

診療メニューを拡充する

常に新しい学びを提供し、会員同士の情報交換を推進することで、貴院の診療メニューの拡充をサポートします。

スタッフの理解を深め、院内体制を整える

コメディカルスタッフ向けの教材や、院長と共に学べる機会を提供することで、スタッフの点滴療法への理解や知識を高めます。

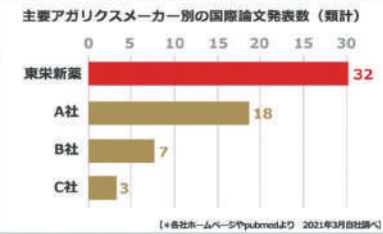
広告

露地栽培アガリクス KA21 含有サプリメント
無料サンプルのご案内



ガン患者様のサポート 抗がん剤の副作用軽減にお試ください

こんにちは。露地栽培アガリクス KA21 を扱っている東栄新薬（株）の元井章智と申します。私たちはアガリクス研究のNo.1メーカーとしてアガリクス KA21の研究を25年以上行っており、これまでに32本の国際論文を発表してきました。
ヒト臨床を含め、NK 細胞活性化、抗がん剤の副作用軽減作用の他、カンジダに対する抗体価の上昇、育毛、腸内環境の改善などエビデンスに基づいた製品をお届けいたしますので、ぜひ一度お試しください。



アガリクス
80%
高配合

コラキュールEX

アガリクス KA21 を高配合した集中ケア用サプリメント。
NK 細胞活性化、抗がん剤の副作用軽減効果による闘病中の方の体調サポートの他、手術後の早期回復効果が期待されます。

ガン患者様のサポート
術後の早期回復

1. 抗がん剤の副作用軽減
2. 高濃度ビタミンC 点滴との併用
3. 免疫療法との併用
4. CTC 検査でアガリクスの感受性が高いケース
5. ご高齢でガンとの共存を選択するケース

このようなケースにご活用ください

6袋入り **5,400円** : 30袋入り **27,000円**

アガリクス
20%
配合

コラキュールR

カンジダ対策（口腔、腸、膈）
ダイエット・美肌

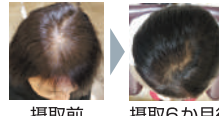
アガリクス KA21 に、フラクトオリゴ糖が豊富なキク科のイモ=ヤコンを配合した真菌症の予防の他、腸内環境改善、医療療身用サプリメント。

30袋入り **11,880円**

育毛特許
配合

コラキュールH

ヒト臨床試験で抜け毛・白髪の改善作用が確認されたアガリクス KA21 の他に特許成分を配合した育毛サプリメント。



120粒入り **14,040円**

摂取前 摂取6か月後

※上記価格はすべて軽減税率 8%の消費税込みの価格です。

無料サンプル申込書 2022年5月30日(月)まで

ご希望の製品に をご記入下さい コラキュールEX コラキュールR コラキュールH

メールアドレス			
フリガナ	フリガナ	フリガナ	
貴施設名	お名前		
電話番号	FAX		
サンプル送付先	〒		

点冊子2204

自宅送付希望 (をチェックの上、送付先にご自宅の住所をご記入下さい。)

お申し込みはこちらから **販売元 / 株式会社ケーエーナチュラルフーズへお申し込みください**
FAX 0422-47-8155 または **お電話 0422-72-8120**
24時間受付 営業時間 9:30~18:00 (日・祝・年末年始休業)



点滴療法研究会

高濃度ビタミンC点滴療法 認定医制度



認定医制度とは

点滴療法研究会では、国民に安心して高濃度ビタミンC点滴を受けていただくため、正しい知識を持った会員医師に認定医資格を設けています。現在、約500名の方が認定医資格を取得しております。
(2022年1月現在)



認定証を発行。
安心して患者様に
選ばれる医院に



当会が質を保証する認定証を発行。自院等でもご紹介いただけます。
※額縁は別売です。

クリニック検索で
上位表示されるから
集患効果アップ

当会のホームページにおけるクリニック検索でご紹介。検索時に優先的に表示されます。

受験案内 (年1回開催)

2022年 **12月4日(日)**

■会場：東京



会員サイトの
認定医ページはこちら▶

資格

- マスターズクラブ会員であること
- ベーシックセミナーⅠの受講
- ベーシックセミナーⅡの受講
- 高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会の受講

※注意 マスターズクラブを退会すると認定医資格はなくなります。

他にも2種類の認定医制度をご用意しています。

キレーション療法 認定医

5月22日(日), 11月13日(日)

オゾン療法 認定医

6月26日(日), 12月18日(日)

会員サービスのご案内

会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。ぜひ、ご活用ください。

認定医制度

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

学習サポート

- ・症例・論文 **PICK UP!**
- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習 **PICK UP!**
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オーソモレキュラー医学会
日本オーソモレキュラー医学会
国際個別化医療学会

クリニック運営サポート

- ・クリニック検索一覧掲載
- ・クリニック詳細ページ作成サービス **PICK UP!**
- ・集患サポートパック **PICK UP!**
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ **PICK UP!**
- ・書籍掲誌
- ・会員証発行

クリニック詳細ページ制作申込受付中!

クリニックの認知を高めよう!

昨年より始まった「クリニック詳細ページ」作成サービス。すでに多くの会員様にご活用いただいております。検索上位表示も可能です。ぜひご活用ください。当会Facebookにも掲載いたします。

掲載内容

- 院内写真(1~5枚)
- 医院の特徴
- ドクターインタビュー
- 得意とする点滴療法
- 治療へのこだわり
- 患者様へのメッセージ
- 診療時間案内
- アクセス情報

制作・掲載費

45,000円(税込)

年間検索数
約8万回

詳細ページがあると
上位検索
されやすい!

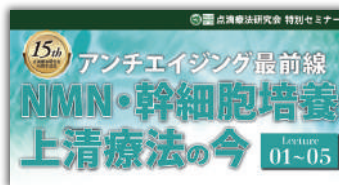
ホームページをもっとよくしたい先生向けに

集患サポートパックも
ご用意しています。

点滴療法導入クリニックの集患に必要な要素をオールインワンにしたパックです。詳しくは同梱資料をご覧ください。

学習サポート

動画学習



学習サポート

症例・論文

会員サイトでは点滴治療に関する症例やエビデンスを紹介しております。

閲覧には、
ログインが
必要です。



「症例から学ぶ」 掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法 高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例」健康増進クリニック 院長 水上 治 先生
- 「オゾン療法 線維筋痛症、気分障害、不安障害」鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生

「論文から学ぶ」 掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法に関連する代表的な基礎研究」
Ascorbate regulates haematopoietic stem cell function and leukaemogenesis Nature (2017) doi:10.1038/nature23876
- 「グルタチオン点滴療法に関連する論文」
Anti-cancer effect of pharmacologic ascorbate and its interaction with supplementary parenteral glutathione in preclinical cancer models. Free Radic Biol Med. 2011 Aug 1;51(3):681-7

メールマガジンに
ご登録ください!

医学情報、柳澤会長からの動画をはじめ、各種キャンペーンやお得な情報をお送りしております。お見逃しなく! メールマガジンのご登録は無料です。

ログイン後
マイページより
ご登録ください!



オンラインショップ

点滴療法研究会 マスターズクラブ 会員限定 院内販促サポート、拡充中!

患者様に点滴療法を知ってもらおう!

院内販促にお役立ていただけるサポートを充実いたしました。貴院でのお取り扱いに合わせて、ぜひご活用ください。

デジタルサイネージ 販売開始!

院内モニター用の販促動画をご用意いたしました。貴院での導入状況に合わせて各種点滴療法の紹介を組み合わせることでアレンジできます。

必須 A	点滴療法とは? 〔2分30秒〕	● 点滴療法の概要とメリット ● 適用疾患 ● 使用する栄養素の効果	販売中!
+ 選択式 B 1~3	各種点滴療法の メリットや歴史 〔各約2分〕	B1:高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版) B2:高濃度ビタミンC点滴療法(アンチエイジング版) B3:マイヤーズ・カクテル版	Coming Soon!!
+ 選択式 オプション	活用しやすいような オプションをご用意	● 名入れ・ロゴ追加 ● デジタルフォトフレーム	販売中!

動画サンプルは
こちらから
ご覧ください



今後も院内販促をはじめ 会員クリニックの発展に
役立ていただけるサービスを展開してまいります。

◀ オンラインショップはこちら



01 宇野 克明先生
新たなステージに
入った『若返り医療』



02 野村 紘史先生
培養上清の
秩序・臨床・評価



03 青木 竜弥先生
今すぐできる幹細胞
培養上清点滴療法



04 吉見 洋志先生
幹細胞上清
入門



05 林田 学先生
NMN、上清液、セカンド
ライン構築で年商1億!

動画一覧は
こちら



点滴療法研究会 協賛企業のご紹介 (五十音順)

当会の活動にご賛同・協力いただいている年間協賛企業（企業会員）の一覧です。



アークレイマーケティング株式会社

【血中ビタミンC相当値を簡単・迅速にチェック可能!】ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。まずは、資料請求からお気軽にお問い合わせください。

TEL.050-5527-7700



Wismettacフーズ株式会社 ナチュメディカ事業グループ

ナチュメディカのサプリメントは、栄養療法フォローを目的として、安全性・科学的根拠・機能性にこだわった設計です。柳澤先生ご監修の「点滴療法専用サプリメント」をはじめ、様々な局面でご活用いただけます。

TEL.03-6870-2006



有限会社クリア・ラボ・ジャパン

Klaire Labs社は米国で50年間以上、医療機関へアレルゲン・フリーのプロバイオティクス・サプリメントを提供し続けています。米国同様、日本でも15年にわたり医療機関へ提供させて頂いております。

TEL.045-534-9518



株式会社スピック

日本製の高品質ナリポソーム化されたビタミンCサプリメント。全国1,500以上の美容と健康のプロの事業所で導入されています。高濃度ビタミンC点滴を導入のクリニックでのお取扱いが中心です。

TEL.0467-23-8161



一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会

今年5月15日に治療レベルのオーソモレキュラー栄養療法の最新動向について1dayセミナーを開催!そして9月18~19日には点滴療法研究会と合同で「国際栄養医学シンポジウム2022」が開催されます。詳細はお問合せください。

TEL.03-6821-1461



株式会社First Health Japan

最高水準の医療・技術が必要とする医師と世界の医療機関・情報を繋ぎサポートいたします。USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等詳細はお問い合わせください。

TEL.03-5799-7085



株式会社分子生理化学研究所

当社は2002年に設立した医療機関向けサプリメントメーカーです。医師が選ぶサプリNo.1を獲得し、全国約5,000の医療機関導入をした実績から、栄養療法を実践する皆さまのサポートをさせていただきます。

TEL.03-5286-7010



日本ダグラスラボラトリーズ株式会社

DOUGLAS LABORATORIESは医師の手から患者様へ医師が責任を持って処方する信頼のブランドです。

1本からの卸、小ロットOEM、オリジナル商品製造、分包化等、多彩なサービスを取り揃えています。

TEL.03-5530-2212



株式会社アイダンプロダクツジャパン

米国リオルダンクリニックの研究室から生まれた革新的サプリメント。柳澤会長とリオルダン博士が設計監修された高濃度ビタミンC点滴のサポートサプリIVC-MAXなどを取扱っております。是非ご利用ください。

TEL.03-6811-1318



株式会社ウェルハート

当社は薬監申請に基づき、海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。また、ドイツHumares社のオゾン機器、JBP社のヒトプラセンタ内服薬、の国内代理店業務を行っております。

TEL.03-5276-6071



株式会社玄米酵素

㈱玄米酵素 1971年創業
「玄米酵素」玄米、胚芽表皮を麹菌で発酵した自然派サプリ/学術論文が30本以上/140以上の医療機関がご利用/ビタミン11種、ミネラル10種、食物繊維、抗酸化成分も豊富

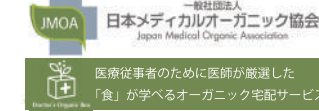
TEL.011-736-2345



共同購入VC受注代行センター (有限会社ディスインターナショナル)

厚生局の指導に従い、法令遵守して医師による個人輸入をサポートいたします。Mylan社製ビタミンC製剤・Woerwag社製αリポ酸の受注窓口として、受注業務を代行しております。ご不明な点があれば気軽にお問い合わせください。

TEL.03-6300-0152



一般社団法人日本メディカルオーガニック協会

毎月テーマに沿った「食・栄養に関する医学情報誌」と厳選した「オーガニック食品セット」をお届け。医師監修の元、医学的根拠に基づいた食と健康に関する知識を身につけることと共に、オーガニックな食材を体感することができます。

TEL.03-6277-3011



株式会社LiNK

ヨウ素製剤に関する臨床・研究の情報収集、他の学会や団体との交流・親交を深め知識向上を目的とした講習会・学術活動を行います。

TEL.03-6417-1920



アンブロシア株式会社

迅速・丁寧・安心をモットーに各種検査サービスをお届けします。(遅延型フードアレルギー/重金属(唾液・尿)/有機酸・環境汚染物質/副腎ストレス/SIBO(呼吸)/ビタミンD/男性・女性ホルモンなど)

TEL.044-299-7946



株式会社MSS

医科向けシェアNo.1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐えうる性能と品質」をお約束します。さらに、「栄養療法のトータルサポート企業」として、「栄養療法とサプリメント販売のノウハウ」を、先生方にご提供いたします。

TEL.03-5366-0208



株式会社こころ

欧米で盛んに研究され、その驚くべき効果がつぎつぎと発表されている麻由来のポリフェノール、CBD。いま、健康をサポートする栄養補助食品として医師や科学者の間で注目を集めています。詳細はお問合せ下さい。

TEL.048-291-8802



株式会社デトックス

株)デトックスは2005年から医療関係者のために、一流レベルの機能性医療検査と高品質の治療薬とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバーしております。

TEL.03-5876-4511



株式会社ニュートリション・アクト

遺伝子レベルに着目した、医療機関専売サプリ【メロングリソジン プロ】細胞内の抗酸化酵素を誘導し活性化することで、本来の生命力を高め究極のアンチエイジングへ。その他DNA修復サプリ・ミトコンドリアサプリも。

TEL.03-3538-5811



一般社団法人 臨床水素治療研究会

水素を用いた各種疾病の治療や予防効果の調査研究、水素治療における専門的な知識向上とその活用を行うとともに、水素治療における治療行為者の育成と規格化を推進しその活動支援を行っております。

TEL.03-3221-6313



オーガニックサイエンス株式会社

日本初の塩化マグネシウムを高濃度に配合したマグネシウムクリーム。防腐剤、合成界面活性剤を使用せず100%天然由来成分でつくられ、マグネシウムが持つ特有の肌への刺激を抑え、敏感肌の人でも継続使用できる。

TEL.0800-222-0986



株式会社サルベストロールジャパン

ニュージーランドのサルバケア社より認定を受け、日本におけるサルベストロールの販売提供を行っております。がん治療を目的とした医療機関向けサプリメントSalvestrol PLATINUM2000(点滴療法研究会推奨サプリメント)です。

TEL.03-6450-2406



東栄新薬株式会社

露地栽培アガリクスKA21の製造販売会社。32本の国際論文に基づいた、免疫サプリ=癌患者様用、カンジダ(口腔内、腸、膈)対策、特許配合育毛サプリ、腸内環境改善サプリの無料サンプル申込は以下にお電話ください。

TEL.0422-26-7310



株式会社ビーアンドエス・コーポレーション

2022年4月に発売20周年を迎えた医療機関専用サプリ乳酸菌生成エキス『アルベックス』、2022年3月に機能性表示食品となったホタテ由来『プラスマローゲン』を扱っています。ご興味のある方は是非資料請求ください。

TEL.03-3288-0068

